



第1回 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会



令和4年5月10日(火) 13:30~15:30 (会議室)

浜松市立雄踏小学校

第1回 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会

令和4年5月10日（火）13:30～15:30（会議室）

青の付箋・・・子供・環境等の良いと思ったこと。
ピンクの付箋・・・ここを頑張ってくれるとうれしい
と感じたこと。
書いていただいた感想を子供や職員に伝えますので、お帰りに付箋を主幹（松田）まで御提出ください。よろしくお願いいたします。

- 1 日程：13:30～13:50 授業参観
14:00～15:30 第1回 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会

- 2 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会次第（全体司会：加茂 記録：前岡）
 - (1) 会長挨拶

 - (2) 校長挨拶（運営協議会委員任命書交付を含む）

 - (3) 自己紹介（子供たちの様子の感想等も含む）

 - (4) 浜松市教育委員会から

 - (5) 協議（司会：会長）
 - 令和4年度雄踏小学校経営の基本方針（校長）
 - 雄踏小学校のコミュニティ・スクールの方針と取組（主幹教諭）
 - 1学期の取組について※土曜学習を含む（学校支援コーディネーター）
 - 夢育やらまいか事業（CS加算分）の運用について（教頭・主幹教諭）

 - (6) 浜松市教育委員会

 - (7) 連絡事項
 - 令和4年度ゆうさくコミュニティ・スクール協議会
 - 【第1回】令和4年 5月10日（火）13:30～15:30（授業参観含む）
 - 【第2回】令和4年 9月27日（火）13:30～15:30（授業参観含む）
 - 【第3回】令和4年11月22日（火）13:45～15:30（授業参観含む）
 - 【第4回】令和5年 2月17日（金）13:30～15:30

令和4年度 ゆうさくコミュニティ・スクール協議会委員 名簿

No.	氏名	肩書等
1	中村 秋男	協議会会長
2	山田 敏	協議会副会長 保護司
3	石川 恵一	自治会連合会会長
4	中村 厚	保護司
5	山内 勝己	民生児童委員会会長
6	村松 美智子	民生児童委員
7	藤田 格	令和3年度PTA会長
8	飯尾 晋太郎	令和4年度PTA会長
9	和久田 雅子	学校支援コーディネーター
10	加茂 聡美	学校支援コーディネーター

令和4年度 雄踏小学校 グランドデザイン

国・市の教育指針

○学習指導要領 ○浜松市総合計画 ○浜松市教育推進大綱 ○第3次浜松市教育総合計画



雄踏中学校区をめざす子供像 「豊かな心もち未来を創造する子供」

児童の実態	身に付けさせたい力	地域の実態
<ul style="list-style-type: none"> ・素直で、明るく人と接する ・助け合う気持ちが大きい ・運動好きで意欲的に取り組む ・難しい課題解決には消極的 ・時と場に応じた挨拶が苦手 ・言葉遣いに課題がある ・粘り強さに欠ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主性、主体性 ・意欲的で粘り強い気力、体力 ・思いやりの心 ・互いに磨き高め合う共生の心 ・思考力・判断力・表現力等、確かな学力 ・言語能力、情報活用能力、問題発見・問題解決能力 ・健康で安全な生活を送るための基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた自然環境にある ・一方で都市化が進んでいる ・三世帯家庭が多く、人情に厚い ・教育の地という意識が高く、学校教育に対する地域、保護者の関心、期待が高い

〈教育目標〉 一人一人がかがやく たくましくすこやかな 雄踏の子
〈合い言葉〉 ー にこにこ わくわく もりもり ー

経営方針

- ① 一人一人を大切にする発達支援教育を学校経営の基盤に置く。発達支援教育の校内体制を築く。
- ② 自己有用感、自己肯定感を高める学校・学級風土づくりをする。教えてほめる教育、子供理解（受容と共感）。
- ③ 新しい時代に求められる資質・能力を育成するために授業改善に取り組む。主体的で対話的な深い学びの追究。授業のユニバーサルデザイン化による「わかる、できる」授業を目指す。授業のベーシックスキルの向上。
- ④ 夢と目標をもち、自分らしさを大切にするキャリア教育を教育活動全体で推進する。
- ⑤ 「社会に開かれた教育課程」を目指し、CSを推進して、保護者や地域と連携して教育活動の充実を図る。
- ⑥ 「学校の教育力は職員集団のチーム力」として、学校体制、チーム力で教育課題に取り組む。
- ⑦ 働き方改革の推進。心身ともに健康でやりがいをもって勤務できる職場づくり。

にこにこ

〈願う子供像〉
自分も友達も
大切にする子

〈重点目標〉

- 互いを理解し合い、時と場に応じた言動に心掛ける
- 進んで気持ちのよい挨拶をする

わくわく

〈願う子供像〉
考えをもち
学び合う子

〈重点目標〉

- 学んだことを活用して、思いや考えを進んで伝え合おうとする

もりもり

〈願う子供像〉
心身を鍛える子

〈重点目標〉

- 健康と安全を支える基本的な生活習慣を身に付ける
- いろいろな活動を通して体力を高める
- 目標をもって挑戦し続ける

経営の基盤

〈指導体制の充実〉

- 発達支援体制の充実、推進
- 生徒指導体制の確立
- 学年指導体制の機能化

〈家庭・地域等コミュニティとの連携・協働〉

- 自分らしさを見つけるキャリア教育の推進
- 保幼小中連携による健康・安全・防災教育
- CSによる地域の力を生かした教育活動の充実

〈校内環境の充実〉

- 授業のユニバーサルデザイン化
- 合理的配慮の提供
- 基礎的環境整備の推進

一人一人を大切にする発達支援教育

令和4年度 雄踏小学校 学校経営構想

学校教育目標「一人一人が かがやく たくましく すこやかな 雄踏の子」

1 今年度の指導の重点

(1) 「共感する」

ア 「共感」は、互いに信頼し合い、尊敬の中から生まれる「感情の共有（相手の感情に寄り添う）」である。

(2) コミュニケーション力の向上

ア チャンスは人から運ばれてくる

2 目指す学校像

(1) 温かさに満ちた学校

(2) 正義が通る学校（決まりが守られることで安全安心に過ごせる）

(3) 地域と共にある学校（大人になる経験を積める、学校や地域が連携して子供を育てる）

(4) 夢や希望が持てる学校（自分らしさを発揮できる、能力を発揮できる、新しいことにチャレンジできる）

(5) 職員が働きやすい学校（組織で対応「チーム雄踏」、働き方改革の推進、子供と向き合える時間の確保）

3 目指す教師像

(1) 人間としての教師

ア 家族の幸せを考えたり、居住地域の発展に貢献したりできる。

イ 夢やロマン、多彩な趣味などを持ち、広く社会に出て視野を広げる。

ウ 「ワーク」と「ライフ」をはっきり分けるのではなく、「ワーク」の中の「ライフ」、「ライフ」の中の「ワーク」を大切にして、「ワークライフバランス」を考える。

(2) 専門家としての教師

ア 使命を自覚し、最大限に効力を発揮する。

イ 専門性を磨くために、常に自己研鑽と同僚性（組織）によるスキルの向上に努める。

ウ 学習指導、学級経営、生徒指導、進路指導を通して、子供たちの健全な心身の育成を図る。

エ 日々の教育実践の中で、これからの時代を見越した能力を子供たちに身に付けさせる。

4 学校の立ち位置

(1) 子供と学校

子供は、コミュニケーションを重ね、相手の考えや気持ちを理解する（折り合いを付ける）ことで、互いに励まし合い、助け合う良好な人間関係が築かれる。自分らしさを追い求めるキャリア教育を推進する。

(2) 家庭と学校

日ごろから家庭と連絡を取り合うことで信頼を築き、子供に関する問題が生じたときには、家庭と組織で、素早く、正確に、誠実（4S）に対応することが大切である。保護者に対しては、常に真摯に謙虚さをもって対応する。

(3) 地域と学校（コミュニティ・スクールの推進）

地域素材や学習ボランティア、外部人材などを積極的かつ計画的に活用することで、人間関係力や学ぶ意欲の向上、地域を愛し、地域と共に歩む子の育成に努めたい。

5 組織力の向上

- (1) 組織力の維持は「ざっそう（雑談・相談）」あつての「ほうれんそう（報告・確認、連絡、相談、心遣い）」。
- (2) 教育課程の実践は4K（確認、共有、協働、改善）
- (3) 問題行動の対応は4S（組織で、素早く、正確に、誠実に）

6 保護者との連携

- (1) 保護者を応援団に変えたい。

ア 初動対応を誤らずに学校や教師から保護者や地域にアプローチしたい。

イ 悪い報告は保護者の表情を直接見たい。

ウ 信頼関係を築く。

(ア) 信用失墜行為の撲滅

- ・不祥事、体罰、暴言（人格否定、存在（生存）否定）なし。
- ・「教職員のSNS利用に関するガイドライン」確認。

(イ) 教師間の共通理解

- ・教師の身だしなみは大丈夫か、笑顔であるか。
- ・気持ち良い挨拶や廊下を走らない等、教師が同じベクトルで指導が共通しているか。
- ・機を見て他の学級で他の学級担任をほめているか。

(ウ) 自己研鑽は何のためにあるのか。個人の専門性向上のためだけではない。学校力は教師力の掛け算である。1人でも教師力「0」であれば学校力も「0」である。

(エ) 生徒指導の基本は、「子供を笑顔で下校させる」こと

- ・専門家として、わずかにでも感じ取った直感（第6感）や違和感を見落とさない。

(オ) 子供たちに生きる力を身に付けさせる。

- ・20年後、30年後、目の前の子供と笑顔で会話ができるか。
- ・「子供だから」ではなく、一人の人間として適切な対応をしたい。

- (2) 保護者の視点（注目している点）、視野（見る範囲）、視座（見る立場）を考える

ア 相談されたら聞くだけでよいのか回答がほしいのかを保護者に確認する。

イ 正確な情報をつかむために、複数の職員で対応しメモを取る。

7 キャリア教育との関連

校内で自分の良さを見つける活動以外に、校外での体験活動を通して、キャリア教育の視点から社会で働く職業人の生き方の一端に触れさせることによって、夢に向かって粘り強く頑張ることやより高い目標をもつことの大切さについて学ばせるようにしたい。また、社会の一員としての自覚やマナーを身に付けさせ、体験活動で触れ合う「人・もの・こと」とのかかわり合いを通してコミュニケーション力を高め、心を豊かにすることで「心の耕し」を図りたい。体験活動を行うに当たっては、地域との関わりを深めながら、雄踏地区の教育資源（人物、歴史、文化、伝統、自然など）に触れたり、雄踏地区の人材を教科や総合的な学習の時間、クラブ活動や行事などで積極的に活用したりする。

（第3次浜松市教育総合計画「市民協働による人づくり」）

令和4年度 雄踏小学校 コミュニティ・スクールの方針

1 ねらい

「ゆうさくコミュニティ・スクール協議会」と「ゆうさく学校応援団（学校サポートシステム）」との連携・協働により教育活動のさらなる充実を図り、一人一人を大切に
する発達支援教育の充実及び、キャリア教育を推進し、学校の教育目標「一人一人がか
がやくたくましくすこやかな雄踏の子」の実現を目指す。

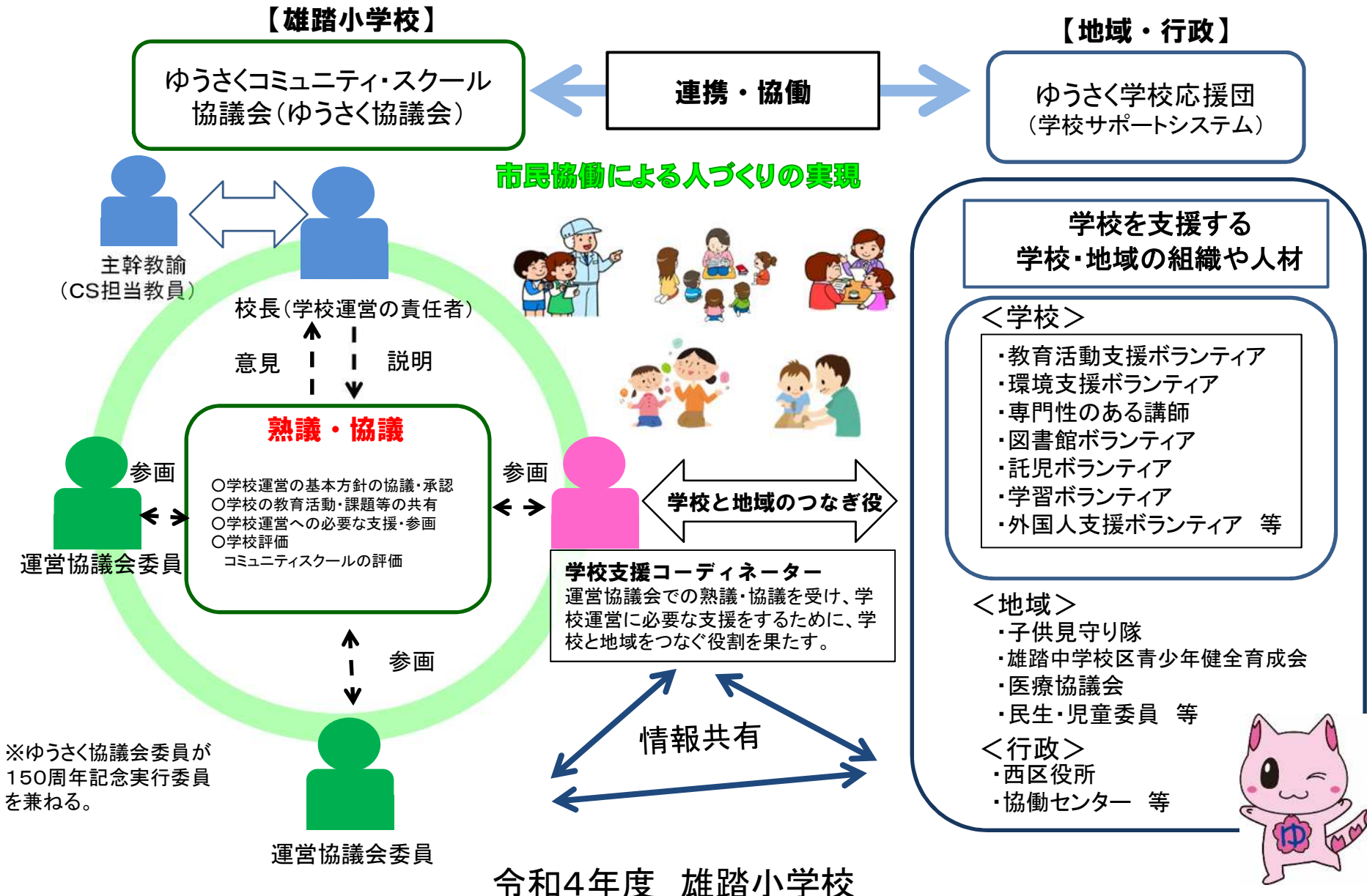
2 令和4年度の方向性

ゆうさく協議会(協議・評価) 【学校運営協議会委員】	ゆうさく学校応援団 (学校支援) 【学校支援コーディネーター等】	情報発信活動(保護者・地域住民) 【学校、学校支援コーディネーター等】
<ul style="list-style-type: none"> ○学校運営の基本方針の協議・承認 ○学校の教育活動・課題等の共有 ○学校運営への必要な支援・参画 ○学校評価 コミュニティスクールの評価 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校サポートシステムの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材等のリストのさらなる充実 ○一人一人を大切に する発達支援教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・子供のニーズに合った支援の 在り方についての検討 ○キャリア教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材等活用の年間指導計 画への位置付け(学校) ・学校の要望に合った地域人材 等と学校をつなぐ(学校支援 CD) 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクール便 りの発行(年間3回) ○学校HP ○学校だよりへの掲載 ○保護者ボランティアの募集 ○PTAとの連携による保護 者への周知

3 ボランティア・外部人材の依頼

- ① 活動の趣旨、活動計画等を学年主任からCS担当である主幹教諭に報告。
- ② 主幹教諭より校長、教頭に報告をし、承認を得る。
- ③ 承認を得たら、学年主任・担当者から学校支援コーディネーターへ依頼をし、計画を進める

一人一人がかがやく たくましく すこやかな雄踏の子



令和3年度 6年生「雄踏未来プロジェクト」 報告

▼ 協力店舗 25店舗

キュードール

きらり

クレオ

こうじや

サカシタスポーツ

しんみせ

ダイワロイヤルホテル

THE HAMANAKO

ナナマルスタジオ

はじめ

はなや

まっちゃんち

よらっせ

伊豆屋

宇布乃園

岡田屋

海老仙

魚時

近江屋

金寅

麴屋

山七

山長

新八木

大和屋

宇布見郵便局

▼静岡新聞 2022.3.22

【3月15日に報告会を開催】

雄踏活性化へ児童が知恵 観光地図や歴史紹介パネル 浜松で報告会

2022.3.22

浜松市西区の雄踏小が地元のホテル「ザ ハマナコ」や商店街と協力し、地域活性化案を考える「雄踏未来プロジェクト」の活動成果報告会が同ホテルで開かれた。観光地図や商店用のれんなど6年生約150人が6チームに分かれ、知恵を絞って考えた成果を報告した。



児童は、昨年4月から話し合い、観光用の地図（紙、デジタル）や観光名所タペストリー、歴史紹介パネル、商店街店頭用ののれん、同ホテルのプロモーション動画の六つの制作を計画。地図の名所や店舗は手描きのイラストを使ったり、のれんなどの生地には地元名産の遠州綿紬を使ったり工夫を凝らした。

同ホテルの伊藤佳典総支配人（51）からは児童に感謝状が贈られ「PRのプロが行うものとは異なったアプローチで、観光客誘致に役立ちそう」と高評価を受けた。

成果物は同ホテルや商店街で展示されたり使用されたりする。紙の観光地図制作チームの神田夏希さん（12）は「マップを作る中で改めて町の良さを知ることができた」と話した。

▼ 贈呈した「のれん」を掛けた店舗の様子



【「のれん」の紹介を掲示】



【店先に地図を掲示】



令和4年度ボランティア活用の要望一覧

R3年度末

学年等	優先順	教科等	実施月	内容	時数・回数・希望人数等
学校	1	1~4年	通年	外国籍児童支援	月曜日①~④校時
	2	環境整備	通年	草刈りボランティア	多人数
	3	環境整備	通年	学校玄関付近の花壇の整備	多人数
1年	1	安全	4月	集団下校の見守り	1週間程度 10コース
	2	生活科	10月	たのしいあきいっぱい (木の実拾い)	3時間 1回
	3	生活科	12月	じぶんでできるよ	各クラス1時間
2年	1	生活科	5月	野菜はかせ (植え方・育て方)	各クラス1名
	2	生活科	6月	とび出せ ゆうとう たんけん隊 (町たんけん)	1人×10グループ 計10名
	3	生活科	1月	妊娠から出産の時の「お母さん」たちの子供への気持ち	各クラス1名 保健師orお母さん
	4	図工	10月	たのしくうつして (版画)	3、4名程度
	5	図工	1月	まどからこんにちは (カッター)	3~4名程度
3年	1	総合	9月	たきや漁 (漁法、道具) など	3~4名
	2	書写	通年	毛筆補助	1回 2名
	3	書写	12月	書き初め指導補助	1, 2回 1回 2名
4年	1	総合	9~10月	目の不自由な方との交流	ウィズ 菅原眼科
	2	総合	10~11月	体の不自由な方との交流	湖西市職員山本さん
	3	社会	5~6月	下水道教室	浜松市職員
	4	総合	10~11月	ブラインドサッカー体験	常葉大学 講師
	5	総合	11~12月	福祉について 車いすについて	橋本エンジニア(教頭先生の紹介)
5年	1	家庭科	6~7月	ソーイング補助	8時間×5クラス 各8名
	2	家庭科	11~12月	ミシン補助	10時間×5クラス 各8名
	3	家庭科	5月	調理実習補助	2時間×5クラス 各8名
	4	家庭科	10月	調理実習補助	2時間×5クラス 各8名
6年	1	家庭科	9~10月	ミシン実習補助	4、5名程度 10時間×5クラス
	2	家庭科	11月	調理実習補助	4、5名程度 2時間×5クラス
	3	総合	12月	キャリア教育「未来への挑戦」	1~2時間 15講座
こひさくすまもわらすり	1	こすもす	通年	午後 支援	
	2	ひまわり	通年	午後 支援	
	3	体育	6月末~7月	水泳補助、特にこすもす	加茂育夫先生

上記は、R3年度末に、各学年の先生方から提出いただいた支援希望一覧です。参考にしてください。

< 支援を希望する場合の手順 >

- ① 学年で支援が必要か相談する
- ② 主幹の先生か教頭先生に了解を得る
- ③ CSコーディネーターに連絡する

★1, 2ヶ月前までにお知らせください。依頼文書が必要な時は2ヶ月前までをお願いします。

※講師・ボランティアへの依頼・連絡、依頼文書の作成、当日の受け入れ等を可能な範囲で、お手伝いさせていただきます。

※CSコーディネーターとの連絡方法は、メモか電話でお願いします。

メモ: 職員室北東印刷機の北の机にお願いします。

電話: 携帯 090-3441-8748 (加茂)、090-2618-9264 (和久田)

令和4年度 4.5月 外部人材・ボランティア 授業支援等実績

< 継続支援 >

支援内容	支援日	支援者
こすもす学級授業支援	水・木曜日 ⑤⑥ ※4/20～	山内 聡

月日	曜日	朝の活動	1校時	2校時	3校時	4校時	昼休み	5校時	6校時
4/8	金							(1・下)	
4/11	月							(1・下)	
4/12	火							(1・下)	
4/13	水							(1・下)	
4/20	水							(読・勉)	
5/10	火					(3・国・書)			

(1・下)→1年生 下校指導補助 民生児童委員 延べ 67名

(読・勉)→読書ボランティア 読み聞かせ勉強会

(3・国・書)→3年生 国語科 書写授業支援 中村多賀子

令和4年度 4月 外部人材・ボランティア 学校外実施

活動名・内容等	期日等	ボランティア・講師等
登校見守り	4/11,25	自治会

★ 4月12日(火) 雄踏交番長中澤さんから、めだか250匹をいただきました。

支援ボランティア 4月の取組の様子

○ 1年生下校指導 4/8.11.12.13 民生児童委員の皆さん



○ 登校見守り 4/11.25 自治会の皆さん ○ メダカ寄贈 中澤交番長さん 4/12



○ こすもす支援 水木⑤⑥校時 山内聡さん



○ 読み聞かせ勉強会 4/20



令和4年度 5～9月 外部人材・ボランティア 授業支援等予定

<継続支援>

支援内容	支援日	支援者
こすもす学級授業支援	水・木曜日 ⑤⑥校時	山内 聡
外国籍児童支援(1～4年)	月曜日 ①②③校時 ※5/23～	松永和己、須田浩子、山内聡
学校図書館 修理・掲示	火曜日10:30～12:00	ボランティア 2名

<その他支援>

月日	曜日	朝の活動	1校時	2校時	3校時	4校時	昼休み	5校時	6校時
5/13	金			(外支・打)					
5/19	木			(3・国・書)					
5/24	火					(3・国・書)			
5/26	木			(3・国・書)					

(外支・打)→外国人取り出し、放課後「ゆうさく教室」の打合せ
学校、CSコーディネーター、支援ボランティア

(3・国・書)→3年生 国語科 書写授業支援 中村多賀子、中村心咲、坂下典子

- ★ 現在、学校からの要望で具体的に進められている支援予定
- ・朝 読み聞かせ …………… 6/3から
 - ・昼休み お話玉手箱 …………… 5月中にスタート
 - ・5年生 家庭科 ソーイング …………… 連休明けに相談
 - ・3年生 とびだせゆ ゆうとう たんけん隊 …… 連休明けに相談

令和4年度 5～9月 外部人材・ボランティア 学校外・放課後予定

活動名・内容等	期日等	ボランティア・講師等
ゆうさく教室 (学習支援) ※1.2年生	5/26 6/2,9,16,23,30 7/7,14 9/8 ※木曜日 6校時	松永和己、渥美仁志、須田浩子、 山内勝己、関谷みゆき、渥美香由里、 坂下加奈子、山内聡、坂下正泰

にほんご

日本語をふくめ

ゆっくり勉強したい

1, 2年生の皆さんへ

ゆうさくコミュニティ・スクール

「ゆうさく教室」



ちいき かた
地域の方と

いっしょ しゅくだい がくしゅう こ ぼしゅう
一緒に、宿題や学習する子を募集！



まいしゅう もくようび

毎週木曜日に、

じぶん まな しゅくだい どりる も
自分が学びたい宿題やドリルなどを持って、

るーむ あつ
ゆうさくルームに集まり、

ちいき かた しえん う いっしょ べんきょう ひと ぼしゅう
地域の方の支援を受けて一緒に勉強する人を募集します。



かいさいきかん
<開催期間> 2022年5月から、2023年2月まで

じ かん
<時間> 14:15～15:10 (15:20ごろに下校)

ば しょ
<場所> 雄踏小学校 2階 ゆうさくルーム

こう し
<講師> 地域のボランティアの方

も もの
<持ち物> 勉強したい宿題やドリルなど

※ 3年生以上の子と下校時刻にそろえて学校を出ます。

もう こ ひと した
申し込む人は、下の「ゆう
さく教室申し込み用紙」を、
5月10日までに、担任の先
生に提出してください。



きりとり線(せん)

「ゆうさく教室」 申し込み用紙

() 年 () 組 名前 ()

保護者氏名 ()

連絡先 () - () - ()

※ 5月10日(火)までに、担任の先生に提出してください。

◎開催する日については、後日連絡いたします。